

会 議 録

会 議 名	第2回東浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会	
開 催 日 時	平成27年8月4日（火） 午前10時から正午まで	
開 催 場 所	東浦町役場3階合同委員会室	
出 席 者	委員	高野氏（委員長）、林氏（副委員長）、久米氏、戸張氏、 中瀬氏、早川氏、平野氏、深谷氏、万木氏
	事務局	神谷町長、早川企画政策部長、篠田企画政策課長、 前床企画政策係長、戸田主任、竹内主査
議 題 (公開又は非公開の別)	1 第1回東浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会での意見について（公開） 2 地区別人口推計について（公開） 3 転入出者へのアンケートについて（公開） 4 子育て中の母親へのアンケートについて（公開）	
非公開の理由 (会議を非公開とした場合)	—	
傍聴者の数	4名	
審 議 内 容 (概 要)	議題の審議内容は、別紙のとおり	
備 考		

審 議 内 容 (概 要)

1 町長あいさつ

お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

第1回東浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会では、自己紹介やこのまちに住んでいて感じたこと、また、地方創生に対する考えを話し合いましたが、東浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略のかたちはみえていません。

人口減少対策として「人口は増やさなければいけない」「人口を増やすためにはこうしなければならない」等がいわれているが、効果が薄いものもあるように感じる。

東浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の前提に、住みやすいまちを作ることが目標にあるため、自身が住むまちとして考えていくことが重要だと思う。

2 議題

- (1) 第1回東浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会での意見について (資料1)
- (2) 地区別人口推計について (資料2)
- (3) 転入出者へのアンケートについて (資料3)
- (4) 子育て中の母親へのアンケートについて (資料4)

事務局より「資料1、2、3、4」に基づき説明を行った。

主な意見は以下のとおり

ア 人口ビジョンにおいて、人口減少抑制方策としては、合計特殊出生率を上げる方法と現状の転入数を維持する方法とする。

イ 住む地域を教育環境によって決める傾向もある。「オープンスクール」等東浦町の魅力的な教育環境を打ち出し、住みたいと思う人を増やしていくと良い。

ウ 経済環境の変化に対応できるよう、様々な業種の企業を誘致していかなければならない。六次産業的な農業等も必要である。

エ 子育て中の母親へ独自にアンケートをした結果、子どもがいる母親がもう1人子どもがほしいが産まない理由として「経済的理由」が最も多かった。子育て中の母親が少し働けるような環境を整えると良い。

オ 他市町において、母親目線のグッズを販売するため、子育てをしている母親が集まり会社を設立した事例がある。子育てをしても、勉強することができ、潜在的なスキルを活かせるような「しくみ」も必要だと思う。

カ 既存の施策等が高い水準にあるため、それぞれの施策等を「つなぐ」ことによってより効果が高まる。

正午閉会